



サービス パラメータの設定

Cisco Unified CallManager のサービス パラメータは、選択したサーバ上で複数の異なるサービスの設定ができます。パラメータのリストと説明を表示するには、[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウにある疑問符のボタンをクリックします。画面の上部にある特定のパラメータをクリックするとそのリストを表示することができます。

Cisco Unified CallManager のサービスアビリティ ページを使用してサービスを非アクティブにした場合、Cisco Unified CallManager は更新されたサービス パラメータ値をすべて保持します。サービスを再開すると、Cisco Unified CallManager はサービス パラメータを変更後の値に設定します。



(注)

アップグレード中のサービス パラメータ値の詳細については、『Cisco Unified CallManager アップグレード手順』を参照してください。

Cisco Unified CallManager サービスの詳細については、『Cisco Unified CallManager Serviceability システム ガイド』および『Cisco Unified CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

始める前に

次の条件を満たしていることを確認してから手順に進んでください。

- サーバが設定済みであること。詳細については、[P.2-1](#) の「サーバの設定」を参照してください。
- サービスがサーバ上で使用可能になっていること。[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウには、(アクティブおよび非アクティブの) 使用可能なすべてのサービスが表示されます。詳細については、『Cisco Unified CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』を参照してください。



注意

サービス パラメータに変更を加えると、システムに障害を起す原因となることがあります。変更する機能を熟知している場合、または Cisco TAC から特別の指示がある場合を除いて、サービス パラメータを変更しないようにシスコはお勧めします。

サービス パラメータを設定または表示するには、次のトピックを参照してください。

- [サーバ上のサービスに対するサービス パラメータの設定 \(P.19-2\)](#)
- [サービス用のパラメータの表示 \(P.19-4\)](#)

サーバ上のサービスに対するサービスパラメータの設定

特定のサーバ上の特定のサービスに対してサービスパラメータを設定する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [システム] > [サービスパラメータ] の順に選択します。

ステップ 2 [サーバ (Server)] ドロップダウン リスト ボックスから、サーバを選択します。

ステップ 3 [サービス (Service)] ドロップダウン リスト ボックスから、更新するパラメータが含まれているサービスを選択します。



(注) [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウには、(アクティブおよび非アクティブの) すべてのサービスが表示されます。

[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 適切なパラメータ値を更新します。サービスのこのインスタンスのサービスパラメータをすべてデフォルト値に設定するには、[デフォルトに設定] ボタンをクリックします。

パラメータのリストと説明を表示するには、疑問符のボタンをクリックします (図 19-1 を参照)。画面の上部にある特定のパラメータを表示するには、[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウ内でそのパラメータをクリックします。

図 19-1 [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウ

The screenshot shows the Cisco Unified CallManager Administration interface. The main heading is "Cisco Unified CallManagerの管理" (Cisco Unified CallManager Administration). The breadcrumb trail is "システム > コールルーティング > メディアリソース > ボイスメール > デバイス > アプリケーション > ユーザ管理 > Bulk Administration > ヘルプ". The current page is "サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)".

The "Status" section shows "ステータス: 使用可" (Status: Enabled).

The "サーバとサービスを選択 (Select Server and Services)" section has two dropdown menus: "サーバ (Server) *" with the value "nw095a-149 (Active)" and "サービス (Service) *" with the value "Cisco IP Manager Assistant (Inactive)". Below these is a note: "Clusterwideグループにあるパラメータ以外のすべてのパラメータが適用されるのは現在のサーバのみです。" (Only parameters not in the Clusterwide group are applied to the current server).

The main table lists parameters for "Cisco IP Manager Assistant (Inactive) サーバ上のパラメータ (Parameters on server) nw095a-149 (Active)".

パラメータ名 (Parameter Name)	パラメータ値 (Parameter Value)	推奨値 (Suggested Value)
CTIManager (Primary) IP Address *	<input type="text"/>	
CTIManager (Backup) IP Address	<input type="text"/>	
Route Point Device Name for Proxy Mode	< None >	
CAPF Profile Instance ID for Secure Connection to CTIManager	< None >	
Clusterwide Parameters (Parameters that apply to all servers)		
Cisco IPMA Server (Primary) IP Address *	<input type="text"/>	
Cisco IPMA Server (Backup) IP Address	<input type="text"/>	



(注) 一部のサービスに含まれているサービス パラメータは、通常、変更する必要がありません。[サービス パラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウにアクセスするとき、これらのパラメータは自動的に表示されません。すべてのパラメータを表示するには、[詳細設定] アイコンをクリックします。すべてのパラメータが表示された後に、基本的なパラメータをもう一度表示するには、[簡易設定] アイコンをクリックします。[詳細設定] アイコンが使用不可になっている場合は、そのサービスのすべてのパラメータがデフォルトで表示されています。

ステップ 5 [保存] をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、指定された変更内容でサービス パラメータが更新されます。

追加情報

P.19-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

サービス用のパラメータの表示

場合によっては、クラスタ内の全サーバ上で特定のサービスに属するサービス パラメータをすべて比較する必要があります。また、同期していないパラメータ（サーバによって値が異なるサービス パラメータ）または推奨値から変更したパラメータのみを表示しなければならない場合もあります。

クラスタ内の全サーバ上の特定のサービスのサービス パラメータを表示する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [システム] > [サービスパラメータ] の順に選択します。

ステップ 2 [サーバ (Server)] ドロップダウン リスト ボックスから、サーバを選択します。

ステップ 3 [サービス (Service)] ドロップダウン リスト ボックスから、クラスタ内の全サーバ上のサービス パラメータを表示するサービスを選択します。



(注) [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウには、(アクティブおよび非アクティブの) すべてのサービスが表示されます。

ステップ 4 表示される [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウで、[関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスにある [すべてのサーバに対するパラメータ] を選択し、[移動] をクリックします。

[すべてのサーバに対するパラメータ] ウィンドウが表示されます。現在のサービスの全パラメータがアルファベット順に一覧表示されます。パラメータ名の横には、各パラメータの推奨値が表示されます。パラメータ名の下には、そのパラメータが組み込まれているサーバのリストが表示されます。各サーバ名の横には、そのサーバにおけるパラメータの現在の値が表示されます。

あるパラメータのサーバ名または現在のパラメータ値をクリックすると、対応するサービス パラメータ ウィンドウにリンクして、値を変更することができます。[すべてのサーバに対するパラメータ] ウィンドウ間を移動するには、[前へ] および [次へ] をクリックします。

ステップ 5 同期していないサービス パラメータを表示するには、[関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスにある [すべてのサーバに対する同期外れパラメータ] を選択し、[移動] をクリックします。

[すべてのサーバに対する同期外れパラメータ] ウィンドウが表示されます。現在のサービスについて、サーバによって異なる値を持つサービス パラメータがアルファベット順に表示されます。パラメータ名の横には、各パラメータの推奨値が表示されます。パラメータ名の下には、そのパラメータが組み込まれているサーバのリストが表示されます。各サーバ名の横には、そのサーバにおけるパラメータの現在の値が表示されます。

あるパラメータのサーバ名または現在のパラメータ値をクリックすると、対応するサービス パラメータ ウィンドウにリンクして、値を変更することができます。[すべてのサーバに対する同期外れパラメータ] ウィンドウ間を移動するには、[前へ] および [次へ] をクリックします。

ステップ 6 推奨値から変更したサービス パラメータを表示するには、[関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスにある [すべてのサーバに対する変更済パラメータ] を選択し、[移動] をクリックします。

[すべてのサーバに対する変更済パラメータ] ウィンドウが表示されます。現在のサービスについて、推奨値とは異なる値を持つサービスパラメータがアルファベット順に表示されます。パラメータ名の横には、各パラメータの推奨値が表示されます。各パラメータ名の下には、推奨値とは異なる値を持つサーバのリストが表示されます。各サーバ名の横には、そのサーバにおけるパラメータの現在の値が表示されます。

あるパラメータのサーバ名または現在のパラメータ値をクリックすると、対応するサービスパラメータウィンドウにリンクして、値を変更することができます。[すべてのサーバに対する変更済パラメータ] ウィンドウ間を移動するには、[前へ] および [次へ] をクリックします。

追加情報

P.19-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [サービス用のパラメータの表示 \(P.19-4\)](#)
- [サーバ上のサービスに対するサービスパラメータの設定 \(P.19-2\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager Serviceability システムガイド』
- 『Cisco Unified CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』

